西小だより

１０月号

令和８年１０月１日

～トイレのスリッパが教えてくれた思いやりの心～

ある日の業間時間、トイレの前を通りかかると、一人の子が立ち止まり、スリッパをそろえていました。自分が使うためだけでなく、次に使う友だちのことを考えて、そっとそろえている姿でした。その様子をたまたまタブレットで記録することができました。誰かに見てもらうためではなく、当たり前のように行動できるその姿に、わたしは心がとても温かくなりました。これこそが、にこにこプロジェクトで大切にしている「相手を大切にする」姿だと感じました。

☆整えることは、思いやること



スリッパをそろえる。
それは、ものをきれいに並べるだけの行動ではありません。「次に使う人が気持ちよく使えるように」という。相手へのやさしさです。小さな行動ですが、そこには温かい心が込められています。ものや環境を整えることは、自分の心を整え、周りの人を大切にすることにつながります。

世界も賞賛した「あと片付け」の心

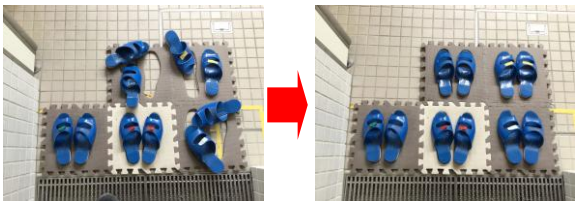
サッカーのワールドカップで日本のサポーターが試合後にスタンドのゴミを拾って帰る姿や、選手たちがロッカールームをきれいにして折り鶴を残したことが、世界中で大きなニュースになりました。
それは、「使った場所を来る前より美しくして返す」という、次の人への敬意と思いやりの行動だったからです。
この心は、私たちの学校生活にもそのままつながるものです。

次に使う人が気持ちよく使えるように・・・



そろえる前

そろえた後



今月のにこにこプロジェクト

10月の重点目標

「整理整とんをしよう」

例１：はき物をそろえよう
例２：使ったものを元の場所にもどそう
例３：みんなで使う場所をきれいにしよう

☆校長より～今月のひとこと～

本校の子どもたちは、誰も見ていなくても、誰かのために行動できる素直で優しい心をもっています。その一つ一つの小さな行動を、わたしたちは決して見逃さず、価値を伝え、しっかりと褒めて育てていきます。「誰一人取り残さない教育」の基盤は、こうした日常のやさしさの積み重ねにあります。



実りの秋、子どもたちのさらなる成長を楽しみにしています。

☆保護者の皆様へ

ご家庭でも、はき物をそろえたり、使ったものをもとに戻したりする姿が見られましたら、ぜひ、「次の人のことを考えられたね。」「ありがとう」など、温かい言葉掛けをお願いします。学校と家庭が同じ方向で子どもたちを支えることで、思いやりの心は更に育ちます。今月もどうぞよろしくお願いいたします。

［学校教育目標］

すべての子どもたちが主体的に学び続け
人間性豊かに生きる子どもの育成

進んで学ぶ子ども　たくましい子ども　思いやりのある子ども

ＰＴＡふれあいバザー







９月１２日（土）に、ＰＴＡ主催のふれあいバザーが開催されました。当日は、ＰＴＡ役員の皆様、保護者ボランティア、中学生ボランティア、西の寺子屋の皆様、おやじの会の皆様のご協力のおかげで笑顔と熱気あふれるバザーとなりました。ＰＴＡ役員の皆様を中心に、何か月も熟考を重ね、本気で準備し、楽しむ姿が田布施西小にしかないバザーを創り上げ、参加した子どもたち、大人にとってかけがえのない時間となりました。また、子どもたちにとって、すてきな大人の姿を近くで感じることは、「田布施西小っていいな。」「西田布施地域の人はすてきだな。」と、地域への思いを育むことにつながっています。こんな素敵なイベントにしてくださった全ての方々に感謝いたします。

１１月１日（日）には、西田布施地域の皆様が準備したふれあい文化祭が、西田布施公民館で開催されます。田布施西小の子どもたちの作品も展示されます。地域の行事にご家族で参加されてみてはいかがでしょうか。西田布施地域のすてきに出会えるかもしれません。



新たな読書スペースができました。







第１校舎２階の踊り場に読書スペースができました。子どもたちが少しでも本に親しめるよう、「子どもたちが気軽に読書できる場所をつくりたい。」という思いから誕生しました。図書館で借りた本が並び、さっそく読書を楽しむ児童の姿が見られ、先日の昼休みには紙芝居の読み聞かせがありました。学校評価アンケートの結果からも児童の読書離れが課題となっています。児童が本に親しめる空間になるよう、花アカシアの皆様とも連携し、どんどん活用していきたいと思います。